

授業概要

日本語が初級レベルの外国人にどのように日本語を教えるのかを学ぶ。日本語教育では「初級」ですでに日本語で生活できるだけの「話す」「聞く」「読む」「書く」の力をつける。「初級」は重要な位置づけで、この指導法を学ぶことは重要である。授業では、日本語教育機関で広く使われている『みんなの日本語初級』のテキストを使い教育場面でどのように教えているのかを学んでいく。また、模擬授業を学生の皆さんにしてもらい指導法を体得する。日本語学校、大学の留学生クラスの見学も行う。

授業計画

第 1 回	日本語初級レベルの「話す」「聞く」「読む」「書く」の基本的指導法
第 2 回	「こそあど」表現
第 3 回	助詞の教え方
第 4 回	動詞の教え方
第 5 回	形容詞の教え方
第 6 回	「こと」の使い方
第 7 回	模擬授業
第 8 回	「やりもらう」表現
第 9 回	「ている」「である」
第 10 回	条件文
第 11 回	「ように」の使い方
第 12 回	「の」の意味と使い方
第 13 回	敬語表現
第 14 回	模擬授業
第 15 回	「そうだ」「ようだ」の使い方
第 16 回	期末筆記試験

到達目標

初級レベルの日本語指導法を身につける

履修上の注意

日本語教育概論を履修していること

予習復習

学んだことを毎回復習すること

評価方法

授業態度（１０％）、発表、宿題などの課題（３０％）、期末試験（６０％）

テキスト

授業時にプリントを配布